

(週刊)

磐城春秋

社 八番
行 町四八番
所 田町八番
電話 444
編集 高木
印刷 高木
定価 (一部別開)

鈴木平市長に聴く

明るい街の建設に

公約は必ず果す

三萬二千市民の要望を踏つて立上つた鈴木平市長の動向は全市民注目の的である。所市政方針は如何、公約遂行はどうか、市民に代つて記者は市長の抱負を聴いた。

問、公約は何時遂行するか
答、主なる公約は市政協議會その他四項目であるがこれは必ず実行する。然し未だ助役も決定してゐないし亦表から見た市と實際に入つて見た市政とは大分違ふ事、今具体的にどうするかと云ふことは出来ないが、よく検討して實現し市民各位の期待に副ふやうにする覚悟です。

問、今直に實施しようとする市政方針は……
答、まず第一に市には借金が多過ぎる。然も正當ならざる借金が、之を解決する。次に事務の滞滞を無くする。事務の内、戸籍が最も滞滞してゐる一枚の證明が二ヶ月も三ヶ月もかかる云ふ状態であるからこれへ直す積りである。

問、その具体策は……
答、吏員を増やさないで能率を上げるやうにする。一人増せば年二萬圓かかる、目下の所では罷める者轉出するものは一人もなく、反つて採用申込者が續出してゐる状態である。

高知尾先生を

圍む會

元警中教諭高知尾誠吉氏が所用で來平したので六日午後一時からマルトモ食堂で昔の教へ兒松本徳一、柴田徳二、關内正一氏等十數名が歓迎懇談會を開いた。

往時をしのんで

大森氏等會同

大正末期の初代民選石城青年團長だつた大森勇氏は、

貝殼追放

△凡そ官廳で作つた何々委員會といふ種類のものは無意味なものなかつた。借問す。市議候補者諸君が勿体ぶつて略奪中に書き込んだ委員會がどんな仕事をやつたかを。何々顧問なども好いかげんなものだ。△物價引下げ運動大いに可なり。但し加盟店の看板を

教會堂建設へ

宗派を超越して

從來平地區にあつたキリスト教會堂は日本基督、浸禮の二ヶ所とも戦災に遭つて焼失してしまつたので、日本キリスト教會の中村牧師及び市内信徒間に教會堂建設の必要をさげはれてゐたが、愈々燃熱し、先般日本キリスト教會本部から教會復興委員會の末包主事、アメリカ教會代表クリー博士が來平、信徒代表と協議の

R.C.N

野球リーグ戦

去る五日から運動を開始した平市物價値下促進委員會は、その後益々活潑なる活動を續け、八日は値下運動加盟店も三百軒を超へた。

物價値下運動

不買同盟迄發展か

去る五日から運動を開始した平市物價値下促進委員會は、その後益々活潑なる活動を續け、八日は値下運動加盟店も三百軒を超へた。

五月は

五月の南風を求めて、山に海に、ハイキングが初められたが、平市内各區青年會でも体育向上と和樂を兼ねて、ハイキングが次の如く計畫されてゐる。

- ◇一丁目青年會 十一日勿來關跡と五浦海岸
- ◇七丁目青年會 十八日新舞子海岸

祝 民 主 地 方 自 治 法 施 行

五十有八年の歴史を持つた明治天皇の欽定憲法其名もいかめしい「大日本帝國憲法」は五月二日消滅を遂げ徹底的に民主化された新憲法がその名稱も輕快に「日本國憲法」として三日から實施された。われわれは終戦以來氣にしていた舊い破れた着物をさらりと脱ぎ捨て、新しい着物をつけたいやうな感じがする。同意法に依る地方自治法の施行は、日本民主化の土台ともなるべきもので今後地方行政は全くの民治となり、四月選挙による公選首長と新議員が主として建營の任にあたる事になる。この晴がましい第一會の民主地方議會に多くの競争相手と戦つて議席を獲得した議員各位の感激は、けだしいかばかりであらう。ここに地方自治法の施行を慶祝するとともに、新議員各位の光榮を祝福する所以である。我等は今度こそ不義に味方せず正義を守り、この新憲法を血とし肉として、民主日本建設の正し、そして清い互歩を進めて行かなければならないのである。

祝 地 方 自 治 法 施 行

- 參議院議員
- 星 一
 - 東京 都
 - 代議士
 - 小澤專七郎
 - 千葉縣市川市菅野二一六
 - 齋藤 晃
 - 小名濱町住吉
 - 關内 正一
 - 平市二丁目
 - 縣會議員
 - 馬目武之助
 - 平市五丁目
 - 大井川正己
 - 石城郡湯本町
 - 蓮沼 龍輔
 - 平市四丁目
 - 植田 万次郎
 - 石城郡四倉町
 - 星 友太郎
 - 石城郡錦町
 - 小野 義一
 - 石城郡小名濱町
 - 渡邊 勝治
 - 石城郡湯本町
 - 田畑 金光
 - 石城郡勿來町
 - 木田森之助
 - 石城郡夏井村
 - 平市會議員
 - 吉田喜代治
 - 平市白銀町
 - 酒井 保
 - 平市南町
 - 柴田 徳二
 - 平市八幡小路
 - 佐藤 源吉
 - 平市月見町
 - 木村 淳
 - 平市南町
 - 水竹伊之助
 - 平市紺屋町
 - 馬目武之助
 - 平市五丁目
 - 高木 喬
 - 平市大町
 - 鈴木 政一
 - 平市平窪
 - 松本金市郎
 - 平市平窪
 - 齋藤 角治
 - 平市彌富町
 - 柏原 秀藏
 - 平市新川町
 - 永野 孝夫
 - 平市才樋小路
 - 諸橋 正次
 - 平市新川町
 - 蛭田 利光
 - 平市長橋町
 - 小松 茂
 - 平市南町
 - 新妻 熊男
 - 平市城山
 - 花澤久一郎
 - 平市胡麻澤
 - 鹽 庄 造
 - 平市鎌田町
 - 大塚駒太郎
 - 平市正月町
 - 關場 益一
 - 平市平窪
 - 永山 勇吉
 - 平市久保町
 - 江尻 忠平
 - 平市平窪
 - 眞木 桓
 - 平市紺屋町
 - 國井 一美
 - 平市新川町
 - 大野 友春
 - 平市城山
 - 金成 國雅
 - 平市鎌田町
 - 金古 政通
 - 平市城山
 - 石山 一治
 - 平市材木町
 - 長瀬源三郎
 - 平市平窪

今次選挙の實體を見る座談會

理想選挙は程遠い

金のかかった今次選挙

祖國日本民主化の鍵である四月選挙も滞りなく終了した。この選挙の國民に影響したものは大きい。本誌では七日市民各層代表六名を招き

一、今次選挙を通じての感想
二、次期選挙は如何に在るべきか
の二項目に付て、次の如く隔意なき意見の交換した

◆演説會について

A氏 保守政團の演説は組織立ててのいい即ち矛盾を多く感ぜしめましたね

C氏 要するに全体と個の矛盾は争へない事實です

D氏 急進陣營の演説會は非常によく受けたが閉塞の結果は豫想外に悪かつたのは何故でせう

B氏 即ち票は演説に左右されるものでない云ふことと云ふ

A氏 それだけ選挙民が物と縁故に支配されたこと、即ち政治啓蒙が不充分だったことを示すものです

E氏 演説會を通じて自黨の政策を主張した者は少なかったやうですが

F氏 新聞その他で政策は既に徹底済と考へたことと云ふ一つはA氏の云つたやうに選挙民のレベルの低かつたことに起因するのではないでせうか

B氏 もう一つ、その候補者が心からその黨の政策に賛成してゐないと云ふことが云へるのではないでせうか

C氏 ここにも黨より個人の意識が明瞭に看取されま

◆今次選挙の實體

F氏 投票は大きい選挙では同情、少ない選挙では物と縁故で入つたと見るのはどうでせうか

A氏 實體でせうね

E氏 第三區は一人人物貧困でしたね

B氏 或はそうかも知れませんが余りよく候補者の裏表を知り過ぎてゐたためにそう見たのかも知れませんが

D氏 昔の選挙は實に眞剣でしたが今の選挙はお祭騒的な所が見受けられたのではないでせうか

A氏 余り多く各選挙が重つたからそう見たのでせうね

C氏 平市の場合を考へて見て社会黨は知事選挙には十八パーセント、参議院は同じく十八パーセント、代議士は十一パーセント、縣會は二十一パーセントの得票を得ました。即ち社会黨の票は確定してゐて二十パーセント前後を見られますね

B氏 然し代議士戦の十パーセントと云ふのは矢張り人物に左右された感がありますね

F氏 社会黨は門が狭かつた感があります

A氏 毎日新聞の輿論調査では平市は九十九パーセント迄社会黨支持だつたのです

E氏 ここです。黨よりも人物が今次選挙の實體であると云ふのは

D氏 共産黨は何故得票が少なかつたのでせうね

C氏 共産黨を充分理解出

◆次期選挙には何を望む

B氏 もう同情選挙、物の選挙は澤山です。本當のきれいな選挙をしたいもので

C氏 要するに國民の自覚そのものに待つより外にありませんね

E氏 このため今から社会教育、政治啓蒙をなすべきです

D氏 某大學では候補者に資を養成して、各候補者に資り込ませようですが、應援は金に依らず、眞に「この人を立てなくては」と云ふ人のために意氣を以て應援すべきです

F氏 金のかからない選挙を望みます。早く選挙公營にしたいもので

◆来なかつたのではないでせうか

A氏 所謂愛される共産黨により切れなかつたのです

◆東寶千一夜

藤田進・高峰秀子
長谷川一夫・山田五十鈴
平市 世界館
13日・19日

◆M.G.M. 映画

ブロード
ウエイ
アーサー・フリードマン製作
バズ・レイ・バズ・レイ主演
ミッキー・ルウニ主演
平市 聚樂館

◆岡萬年筆店

萬年筆は専門店へ
修理迅速
岡萬年筆店
平市三丁目
電話三九九番

指壓療法

當所の特長は體内の疲労素を除き清浄なる血液の生活力を増し滋養醫學上重要な療法方法であります

- 1、効効、スポーツ病後の疲労感回復
- 2、肩のハリ、胃腸病、神経痛、頭痛
- 3、健康人の保健

療術後の氣持も良きを味ひ下さい

阿部療術所
平市田町 銀座街
大浦明先生著 指壓療法術
月刊 人間醫學 明治藥學士
一ヶ年 二十回 公衆衛生士
申込所 阿部康雄

阿部康雄

クスリ告知板
家庭醫藥品(藥品家庭薬)
衛生用具資材(ゴム、帽子、注射液、器具等)
○家庭薬方調劑(頭痛、腹痛、嘔吐、特種藥局調劑(皮膚、胃腸))
○特種藥局調劑(皮膚、胃腸)
右御家庭衛生資材準備に御利用下さい

阿部康雄
平市田町 銀座街
電話四十四番

久野電機工業所

蓄電池 發電機
マグネット 船舶自動車
電話一級
久野電機工業所
平市二丁目九
電話三七二番
振替東京二五〇番

磐城自動車工業株式會社

福島縣指定自動車整備主要工場
電話三七〇番
平市正月町

百澤機械店

電動機・農機具類
電話九七一番
平市四月局前

桑原計理事務所

計理士 桑原徹
電話八一五番
平市揚土

釜屋商店

大きな希望を持つて
明るい正しい街を
築き上げるために
お互に力を合せて進みましょう

(少年の町)役場
鈴木傳明
平市公會堂前
電話六〇三番

千代田生命 日産火災海上
三井生命 大正海上火災
日産生命 東京海上火災
申込所 阿部康雄

金成醫院

内科 外科 橋本 田六
彌源 鎌二
諸橋 平電
外科 内科
電話九番 九九番

診療科目

内科 外科 眼科 耳鼻科
産婦人科 レントゲン科
◇厚生省指定病院◇
平病院
電話六〇八番八二番
平市十五丁目

カメラと材料

生活に潤いと歡びを
たつた一台のカメラで
カメラと材料
平の茂木!
警察署通り

印刷物の御用命

廉價(丁寧)迅速の
常磐印刷所
平市鍛冶町
電話二四六番

星製藥株式會社福島工場

醫藥用、化學用其他
硝子製品一切の製造
新星硝子工業株式會社
平市 佃町
電話七二四番

株式會社ホシ薬舗

平市三丁目五
電話四二九番

神谷工業原料株式會社

社長 神谷兼次郎
平市田町五六
電話六五六番
電話六六五番

福島縣指定事業重點工場

平硝子製作所
平木工株式會社
社長 佐藤幸太郎
専務取締役 足助重雄
本 社 平市新田町二六
電話七一・四五五・七七二
東京事務所 東京都芝區新橋二ノ三八
(馬場) 森 七
電話(57) 四八三三番
電話(57) 二九二・二七三
三八九八三五・三五〇番